

# 自然に優しいひと工夫「エコアップ調査」 ご協力をお願い

日ごろから、魅力あふれる農村環境づくりに格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、例年、資源向上活動（共同）の「生態系保全」に該当する取り組みとして、生きもの調査の実施をご提案しているところですが、今年度は、自然に優しいひと工夫「エコアップ調査」にご協力をお願いいたします。

「エコアップ」は、個人でできる、地域でもできる自然に優しい取り組みのことです。エコアップの取り組みのなかには、日常の暮らしや普段の作業にちょっとした工夫を加えることで取り組めるものもたくさん。日常の農作業や多面の活動として何気なく実施していたことが、実はエコアップの取り組みにつながっていることもあります。

この調査は、みなさんが現在取り組まれているエコアップの取り組み箇所や状況を把握するとともに、今後、各組織・集落で取り組みを実施される際の参考にしていただくことをねらいとしています。

全市的に共通の調査を実施することで、より正確な情報の収集や効果的な取り組みにつなげることができます。資源向上活動に取り組まれていない組織や独自の取り組みを計画されている組織につきましても、実施可能な範囲でご協力いただきますようお願いいたします。

## 調査・報告の方法

### ① 「取り組みシート」の記入

エコアップの取り組みなどについてのアンケートです。聞き取りなどによりご回答ください。

### ② 「エコアップ実施マップ」の作成

次のページから掲載している①～⑥のエコアップ活動について、取り組みを実施している箇所にシールを貼ってください。



※聞き取りなどの情報をもとに、集落地図上にシールを貼ってください。

シールが不足する場合や縮尺が合わない場合は、手書きでも差し支えありません。

### ③ お渡しした封筒に必要事項を記入し、シールを貼った集落地図を入れて、

**7月31日（月）まで**に、農村環境課または各支所までご提出ください。

## この調査についてのお問い合わせ

丹波篠山市 環境みらい部 農村環境課（本庁舎2階26番窓口） 担当：野口、山口、畑

TEL：079-552-5013 FAX：079-552-0619 MAIL：kankyo\_div@city.sasayama.hyogo.jp

# 【エコアップ実施マップ～調査対象の取り組み～】

## ①水路に落ちた生きものが脱出できる工夫 ～水路への蓋掛け、石積み、環境配慮型水路の設置 など～

コンクリート水路は維持管理がしやすいものですが、カエルなどが水路内に落ちてしまうと、はい上がれず、死んでしまうことがあります。

### ○こんな取り組みが対象

『蓋掛け』は、水路の上を木材などで覆うことで、生きものが落ちないようにする工夫です。山際などで蓋掛けをすると、落ち葉などがたまりにくくなり、維持管理面でのメリットも。

『石積み』は、水路内の落差や角に石を積んでおくことで、生きものの移動を手助けする工夫です。

### ○こんな取り組みもOK

- ・ 柵や水路の壁に木杭スロープを設置
- ・ 農都のまほろば水路など環境配慮型水路の設置



このシール



木杭スロープ設置



水路の上を蓋掛け



落差部に石積み

## ②水路の泥上げ時の工夫

～泥や水草を少し残す/戻す、実施区間を年度で変える など～

泥上げは水路の詰まりを未然に防ぐことにつながりますが、生きものにとっては、生息環境の激変や生命の危険につながってしまいます。

### ○こんな取り組みが対象

- ・ 水路内の泥や水草を完全にとるのではなく、少しでも残すまたは戻している。

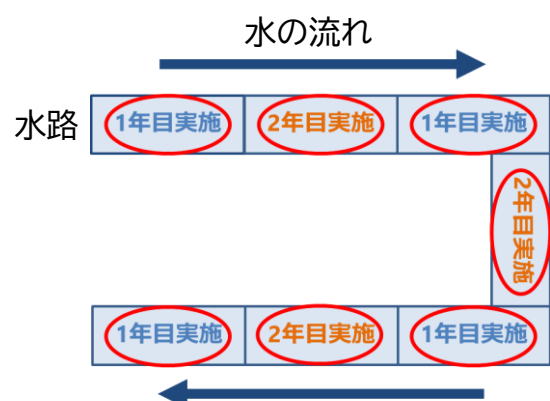
※構造上の問題で泥を完全にとれない場合でも、結果的に泥や水草が残っていれば対象。

- ・ 1年で全区間を実施するのではなく、年度単位で区間を分けて泥上げを実施。

※人が集まらないなどの理由でも、結果的に複数年度に分けて実施していれば対象。



このシール



### ③中干し時の工夫

～カエルの成長に応じた中干しの実施、江の設置 など～

「中干し」は米づくりの重要な作業のひとつですが、オタマジャクシなどの水中から移動できない生きものには一大事になります。ちょっとした工夫で助けられることもあります。



田んぼ内に江（堀上げ）を設置



このシール

#### ○こんな取り組みが対象

- ・ 田んぼ内に「江（堀上げ、承水路、よけ）」を設置している。

※中干し時に生きものが避難できるように田んぼと確実に接続し、湛水されているものに限る。

- ・ オタマジャクシがカエルに成長した（もしくははいなくなった）を確認してから中干しを実施している。

※中干し時期を7月上旬に遅らせている場合も対象。



### ④水辺に魚がいるときの工夫

～石やU字ブロックを設置、堰板下段を通年設置 など～

魚のなかには、水路や田んぼを産卵場や餌場に行っているものもいます。隠れ家になる場所や、流れが変化する場所をつくるだけで、色々な魚がすみやすい環境をつくれます。

#### ○こんな取り組みが対象

- ・ 水路内に複数の石やU字ブロックを設置し、魚の隠れ家になる場所をつくる。

- ・ 取水のために水路内に設置した堰板のうち、最下段を通年設置したままにしておく。

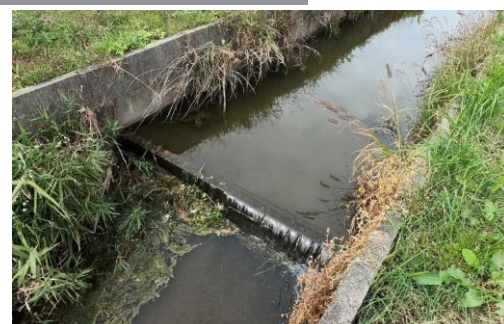
※堰板を設置したままにしておくことで、水の流れが多様化するとともに、生きものの隠れ場所や越冬場所となることが期待できます。ただし、落差が30cmを超えるようになると、魚の移動を妨げてしまうことがあるので注意しましょう。



U字ブロック(上下逆さまに設置)



このシール



取水用の堰板下段を通年設置

## ⑤水辺の作業にあわせて外来生物の駆除を実施

ため池のかいぼりや水路の泥上げ時には、ザリガニなどの外来種が見つかることがあります。外来種のなかには農業被害につながるものも。作業に合わせて駆除しましょう。

### ○こんな取り組みが対象

- ・ ため池のかいぼり、水路の泥上げ、田んぼでの作業に合わせて、外来生物の駆除を実施している。



アカミミガメ



ブルーギル



アメリカザリガニ



ウシガエル



このシール

⇒ 外来生物の例



## ⑥小さな魚がいる水辺にカワセミの止まり場を設置

市の鳥にも指定されているカワセミは、水辺の小魚をエサとしています。小魚がいる水辺に板や杭を設置することで、エサを捕るための待機場所となることが期待できます。

### ○こんな取り組みが対象

- ・ 『小魚がみられる水辺』に木の枝や杭を設置している。または、水路の上面に木の板を設置している。

※管理のために設置している木の足場でもよいが、エサとなる小魚がすめる水辺であることが条件



止まり木



このシール



水路上面に木材設置

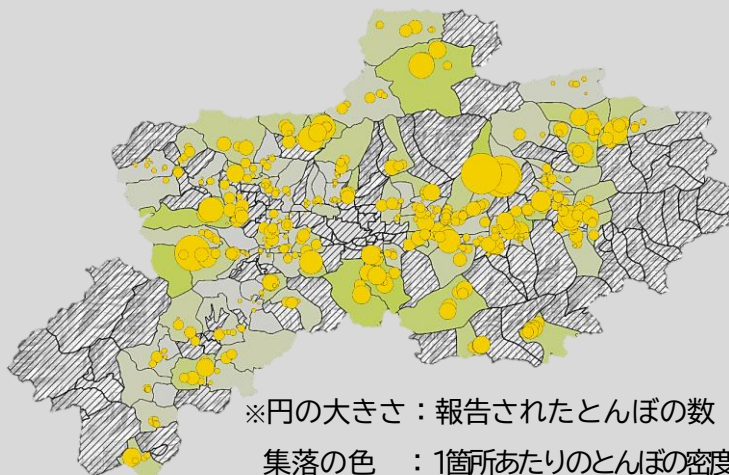
※ため池に設置される場合は、各施設の詰まりに注意して設置してください。

### 《令和4年度農地周りのとんぼ調査の結果概要》

昨年度は、「農地まわりのとんぼ調査」の実施をご提案させていただき、赤色・青色・黒色・その他のとんぼについて、69組織119集落から回答をいただきました。ありがとうございました。

市内の556箇所から10,096頭のとんぼの報告が寄せられ、1箇所あたりの密度は平均で15.1頭、最大では193.4頭でした。また、多くの箇所で、調査前に予想したとんぼの数よりも実際に確認した数は少なくなっていました。

自由記述では、とんぼの増減に関する記述が多く寄せられ、そのうちの94.3%が昔と比べて数が少なくなっていると感じていました。



※円の大きさ：報告されたとんぼの数  
集落の色：1箇所あたりのとんぼの密度